

テックドクターによる症例検討会での助言(佐賀県道路メンテナンス会議)

<概要>

令和5年度 佐賀県道路メンテナンス会議(佐賀県技術検討部会)において、道路施設管理職員の技術力向上や今後のマネジメント(維持管理)等へ展開される事を目的とし、各地公体での症例を基に道路施設の健全度の判定や補修・補強技術など、地公体が悩んでいる案件について助言を受けた。

・開催日:令和5年7月28日

・参加者:TEC-Doctor(佐賀大学 伊藤教授)、テックシニアーズ、佐賀県内20市町道路部、九州道路メンテナンスセンター、佐賀県、佐賀国道

会議・打合せ状況



会議後の相談状況



【佐賀県(唐津土木事務所)】半田鬼塚線 久里橋

事例1: 橋梁部に接続する歩道橋の劣化が著しい状況となっており、診断の妥当性、補修等の検討方針についての相談

- ・歩道橋は綿密に今後の補修による対応方針案が立てられており、賛同。鉄道に近いところは早めに撤去をされた方がいい。
- ・孔食は水処理も一因だと思います。階段、主桁の孔食は、もしかするとステップにステンレスが使われていて、異種金属の接触、いわゆる主桁の部分は鉄、ステップの一部でステンレスが使われていると電気が流れます。今更接触部分処理をする必要はありませんが、他の2橋は歩道橋の階段部に橋の部分で同じような処理があったら、ステンレスを離して触らないようにしてやる処理も必要。

【武雄市】市道乳待坊線 古場4号橋

事例2: 林道として整備され、拡幅に係る設計条件や図書などが無い橋梁の診断、補修の相談

- ・日常的に地下水といっても浅いですが、フーチングの下を流れている状況なので、常時洗堀を受けていると推測される。
- ・今後の補修に関してはしっかり下の方まで掘り返して、フーチング下を全面掘削して、基礎を作れば問題ない。拡幅部ではなく、元々の橋梁の床版橋の下面の主筋が腐食して、かぶり落ちている。原因はかぶり不足です。こちらの方も必ず補修が必要になってくる。
- ・全面通行止めをした判断は妥当。